

## 紅藻サンプルからの PCR プロトコル

### 前処理

#### 溶解液組成

溶解液		Final 濃度
SNET	Tris·HCl pH8.0	20mM
	EDTA	5mM
	NaCl	400mM
	SDS	0.3%
ProteinaseK		200 $\mu$ g/ml

エタノール保存の紅藻サンプル(微量、1mg 以下でも可)に上記溶解液 25  $\mu$ L を添加する。

55 、一晩インキュベートする。

95 、10 分間インキュベートし、ProteinaseK を失活させる。

### PCR

溶解処理液を精製水で 5 倍に希釈し、PCR 反応液に添加する。(\*)

#### PCR 反応液組成 [ 20 $\mu$ L 反応系 ]

2x Ampdirect Plus	10 $\mu$ L
Nova <i>Taq</i> <sup>TM</sup> Hot Start DNA Polymerase(5U/ $\mu$ L)	0.1 $\mu$ L
10 $\mu$ M 5' -Primer	1 $\mu$ L
10 $\mu$ M 3' -Primer	1 $\mu$ L
Sample(*)	0.5 $\mu$ L
Distilled water	up to 20 $\mu$ L

10  $\mu$ L 反応系でも可

プロトコルは京都大学の畑博士からご提供いただきました。